

「東アジア文化都市 2016 奈良市」が開催される

「東アジア文化都市」は、日本・中国・韓国の3か国で、文化による発展をめざす都市を各国1都市選定し、それぞれの都市が1年を通じて行う様々な文化プログラム等で交流を深める国家プロジェクト。

2016年の日本は奈良市が選定され、現代の芸術文化や伝統文化、多彩な生活文化に関連する様々な文化を通して、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を目指している。

本稿では、奈良市から発表された「東アジア文化都市 2016 奈良市」の概要を紹介する。

1. テーマ「古都奈良から多様性のアジアへ」

「東アジア文化都市 2016 奈良市」基本計画では、主に「舞台芸術」「美術」「食」を切り口に、アジア諸地域の文化的共通性を確認し、発信していく。グローバル化による世界の均質化・同質化の波が押し寄せる現在、アジアの諸地域は自らのアイデンティティと文化をあらためて見つめ直すなかで、同じように格闘する様々な地域とつながり、交流することを通して自らの文化を育み、あらたな展望を切り開こうとしている。日本各地のみならず、アジア諸地域で活発に開催されている芸術祭や芸術文化による地域づくりはそうした企図をもって取り組まれている。

本事業では、古都奈良の開かれた精神性を礎に、各都市で行われている様々な芸術祭・地域づくりの取り組みをつなぎながら、アジアの共通性と多様性を明らかにしていく。異なる文化間の絶えざる交流の中に創造力の源泉がある。古都奈良はアジア各国の人々がこの事業を通じて広く深くつながり、それぞれの文化を尊重しながら、伝統と創造を響かせ、アジアの平和構築を目指す。



2. 事業内容

〈〈オープニング〉〉

■日程：2016年3月26日（土）

国際文化観光都市「奈良」を象徴する東大寺で、世界平和への祈りを捧げるとともに、東アジア文化都市事業が奈良市で開催されることを全国に発信するため、シンポジウム・伝統芸能公演やアートパフォーマンスを行う開幕式を開催。

◆プログラム（予定）

○記念シンポジウム

- ・会場：東大寺総合文化センター金鐘ホール
- ・テーマ：「移動と文化—黒潮文化圏としての東アジアから未来を展望する」

○オープニング式典

- ・会場：東大寺大仏殿院内
- ・内容：東大寺 法要
奈良市・寧波市・濟州特別自治道各都市によるオープニングステージ。
各国を代表する映画監督による映像作品の上映。

〈〈基幹事業〉〉

■日程：コア期間 2016年9月3日（土）～10月23日（日）
（仮称）アジア芸術祭

奈良の魅力を発信する場所で、舞台芸術や美術などの基幹事業を行い、集客・発信を行う。

〈舞台芸術部門〉

◆集客発信型の野外舞台公演

奈良の魅力を発信する場所で現代演劇を上演す

ることで、奈良の貴重な歴史・文化遺産や古代都城文化を有する国際交流都市奈良への理解向上を図る。また、舞台周辺には、食による交流などを検討し、複合的な文化体験ができる空間を展開。

・日程：2016年9月中旬～10月上旬

・候補劇団：維新派、SPAC

◆次代の奈良を育てる市民参加型の創作オペラや高校生演劇の公演

○高校生演劇ワークショップ（7月～12月）

奈良市内の高校生を中心に、ワークショップを行い、部門ディレクターの平田オリザ氏とともにオリジナルの劇を創作。

○創作オペラ

「遣唐使物語—名も無き民へのオマージュ」

奈良の芸術・文化・歴史の魅力を探求し、発信している事業として親しまれている「万葉オペラ・ラボ」が継続してきた市民オペラをベースに、東アジア文化都市に合わせて新作オペラを上演。

・日程：2016年10月1日（土）、2日（日）

・会場：なら100年会館（大ホール）

・原作・脚本：上野 誠

〈美術部門〉

◆コア期間の華になるようなアートインスタレーション*の展開（*アートインスタレーションとは場所や空間全体を作品として体験させる芸術）

シルクロードにまつわる日本までの文化伝播ルート上の国々から、第一線で活躍する現代美術作家を招へいし、市内社寺でアート作品を展示。

・アーティスト：日本、韓国、中国、インド、イラン、シリア・トルコから招へい予定。

◆奈良町の町家を舞台としたアートプロジェクトの展開（コア期間）

江戸から明治期の歴史を感じさせる奈良町で、アートを鑑賞しながらまちなかを散策できるように会場を選定し、市民との交流を図りながらインスタレーションや、ワークショップ等を展開。

・アーティスト：地域の伝承や歴史を生かす作風の作家や、住民とのワークショップを得意とする

る作家を選定予定。

〈食部門〉

◆奈良発祥といわれる食（大和茶、お菓子、漬物、お酒、饅頭、うどん等）をテーマに、食を体験できるプログラムを展開。

○シンポジウム（4月）

春日大社にまつわる食文化のルーツを探り、有識者、学識経験者、ディレクター等によるシンポジウムや、実際に食を味わい、食にまつわる伝統建築を見学するなど五感に響く体験型プログラムを展開。

○体験型プログラム

奈良市生涯学習財団と連携し、奈良ひとまち大学において、奈良発祥といわれる食にちなんだ体験型プログラムを展開。

○集客参加型プログラム

シンポジウム会場、舞台芸術、美術会場付近の特設会場にて多くの人が集い、楽しめるイベントを実施。

〈クロージング〉

■日程：2016年12月（予定）

閉会式典やパフォーマンスを行い、東アジア文化都市の一年間を振り返り、総括するとともに、日中韓3都市の今後の友好や次年度の奈良県国民文化祭、2020年の東京オリンピックに向けての礎とする。

奈良市ではオープニング式典の参加者や、本事業を支援するサポーターを募集中、お問合せは下記「実行委員会事務局」へ

〔お問合せ〕

「東アジア文化都市 2016 奈良市」

実行委員会事務局

（奈良市東アジア文化都市推進課内）

TEL：0742-27-0120

FAX：0742-27-0121

HP：http://culturecity-nara.com/

メール：culturecity-nara@city.nara.lg.jp